

VI 湘南地区 ～地域力がいきづく躍動都市圏・湘南～

<主な取組み>

1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備

湘南らしい景観を保つため、平塚、茅ヶ崎、二宮海岸などにおいて消波堤整備や養浜工事を行うとともに松林の保全育成を進めています。

また、人と自然がふれあう場づくりを推進するため茅ヶ崎里山公園など都市公園の整備を進めるとともに、小出川、目久尻川などで多自然型の護岸整備を進めています。

さらに、里山を保全し、農・林の再生や地域の活性化を図るため、秦野市名古木地区で里山支援モデル事業を実施しています。

2 湘南の暮らしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備

生活利便性の向上や産業活動を支える基盤として、さがみ縦貫道路などの自動車専用道路の整備を促進するとともに、国道134号や県道44号(伊勢原藤沢)などの整備を行っています。

また、県道22号(横浜伊勢原)用田バイパスや湘南新道が一部開通しました。

さらに、東海大学駅前の駅前広場の整備など業務・商業拠点としての駅周辺の整備を進めています。

3 湘南の地域力を活用した産業の振興

新事業の創出・起業への取組みを支援する場として、藤沢市、慶應義塾大学及び中小企業基盤整備機構と共同でインキュベーション施設(慶應藤沢イノベーションビル)を開設しました。また、農業者と消費者の交流の拠点として、寒川町に大型直売所「わいわい市」が開設されるなど地産地消を積極的に進めています。

<課題と今後の対応方向>

湘南地域の豊かな自然と美しい景観を将来の世代に引き継いでいくため、山・川・海の連続性をとらえて、丹沢大山の森林や里山の保全、人と自然にやさしい川づくり、さらには侵食の著しい湘南海岸の保全に向けた取組みを関係市町と連携して一層の推進を図ります。

また、地域経済の活性化を図るため、湘南地域の地域力を活用した湘南ツーリズムや地産地消、辻堂駅周辺などの拠点整備などを推進します。

さらに、地域における拠点間の移動や自動車専用道路へのアクセス向上を図るため、引き続き交通ネットワークの整備などに取り組んでいきます。



JAさがみ「わいわい市」(寒川町)



慶應藤沢イノベーションビル(藤沢市)

地区の数値データ(指標)

○道路の混雑度が1.0以上の箇所数(平日)

(単位:箇所)

1994	1997	1999
54 [56.8%]	52 [53.6%]	53 [55.2%]

混雑度1.0以上の箇所では、昼間12時間のうち、混雑する可能性のある時間帯が1~2時間以上生じ始めると推定されます。(ただし高速自動車国道を除く)

(「道路交通センサス」より作成)

※[]内は地区内調査箇所数に対する割合

○製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)

(暦年)(単位:億円)

2001	2003	2004
40,608 (20.4%)	37,909 (20.2%)	40,606 (21.9%)

(「神奈川県工業統計調査結果報告」より作成)

○入込観光客数

(暦年)(単位:千人)

	2002	2003	2004
日帰り	21,932 (16.1%)	23,690 (17.0%)	25,865 (17.7%)
宿泊	632 (4.9%)	583 (4.5%)	584 (4.5%)
延べ	22,564 (15.1%)	24,273 (15.9%)	26,448 (16.6%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」

神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

○小売業の年間商品販売額

(単位:億円)

1999	2002	2004
12,919 (14.3%)	11,791 (13.9%)	11,796 (14.0%)

(「神奈川県商業統計調査結果報告」より作成)

※()内は全県に占める割合